

日本病理学会中国四国支部 「第23回 病理夏の学校 in 香川」 開催報告

第23回病理夏の学校 世話人 上野 正樹
香川大学 医学部 炎症病理学

この度第23回日本病理学会中国四国支部主催「病理夏の学校」を、令和7年8月23日（土）24日（日）の1泊2日の日程で、香川県三木町のトRESTA白山を会場として開催させていただきました。中国四国支部の全10大学より、医学部学生、大学院生、初期研修医、専攻医28名、教員19名に加え、特別講師2名を合わせて、合計49名の皆様にご参加いただきました。

今回の夏の学校は、「神経病理を愉しむ」をテーマとし、学生や病理を志す若手の先生方に、ややもすればとっつきにくい印象を持たれがちな神経病理に対して、少しでも面白さを感じていただければ、という思いで準備させていただきました。

まず学生・初期研修医・専攻医の皆さんに、学年・大学をミックスした5～6人ずつの5グループに分かれて、90分間のグループワークに取り組んでいただきました。神経疾患を主診断とする剖検例の臨床経過、画像所見、剖検時の肉眼・組織所見を含めたスライド15～20枚程度で構成した課題を提示し、それぞれの画像に付された問いに答えながら最終的に診断を含めた2～3の設問に自分たちなりの答えを考えていただく、という形式でした。症例としては、今後の学習や診断の参考にしていただけるよう、国家試験や専門医試験で問われる可能性のある、神経変性疾患を中心としつつも多様な疾患（多系統萎縮症、進行性核上性麻痺+感染性心内膜炎+敗血症、低分化腺癌に合併した頭蓋内内頸動脈閉塞（Trousseau 症候群）からの脳ヘルニア、筋萎縮性側索硬化症、視神経脊髄炎スペクトラム障害）を取り上げました。まだ病理各論で神経病理に触れたことのない低学年の学生さんにも、少しでも学びを持ち帰ってもらえるよう、基本的な神経解剖や代表的な神経疾患の病理像をまとめた資料を事前に配布し、当日はその資料を参照しながら課題に取り組めるようにしました。少々こなしただくのが難しい量と内容かと心配しましたが、参加者の皆さんにはこちらの思った以上に熱心に取り組んでいただき、限られた時間で自らの診断と設定された課題に対する解答をまとめ上げ、聞きごたえのある発表をしていただきました。課題で取り上げた症例については、2日目に出題者の千葉先生（香川大学）と西村先生（川崎医大）から解説していただきました。

また、特別講師として、中国四国地区ご出身で神経病理分野のトップランナーの2名の先生に来ていただきました。1日目には秋田県立循環器・脳脊髄センター・脳神経病理診断科部長の宮田先生から、「ニューロサイエンスの1分野としての神経病理学」との題名で、2日目には愛知医科大学教授の岩崎靖先生から「神経変性疾患の神

経病理診断～アルツハイマー型認知症とレビー小体型認知症を中心に～」との題名で特別講演をしていただきました。実際に神経疾患の病理診断がどのような考え方でなされているか、しっかりした神経病理診断の上でどのような研究が展開されているか、という最先端のお話をお聞きすることができ、「診断のその先」の面白さも感じていただけたのではないかと思います。2日目には、香川大学教員（分子腫瘍病理学 門田教授と炎症病理学 村上先生）によるユニークな講演も行われました。

夕食会では恒例の大学紹介があり、さらに夕食後に行われた自習室での検討会も大いに盛り上がり親交を深めることができました。グループワークで仲良くなったことをきっかけに、大学や学年の枠を超えた交流があちこちで見られました。

発表を聞いた参加者相互の投票により、最も優れた発表を行ったグループとして最グループEが最優秀発表賞に、さらに香川大学6年生の棚田史彦さんが中国四国支部会長特別賞に選ばれ、2日目最後の表彰式で表彰状と副賞を贈呈いたしました。

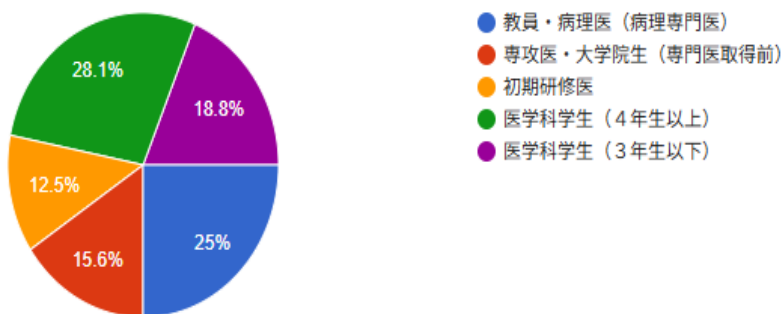
2日間に渡り、神経病理分野の代表的な疾患を網羅的に楽しく学んでいただけるよう準備させていただきました。別紙にまとめました終了後アンケートを見ていただければわかりますように、その目的はある程度達成することができたようで、世話人として大変うれしく思います。今後の診断に役立つのみならず学生さんたちの今後の医学への興味をさらにそそるものになってくれればこの上ない喜びに存じます。

最後に、「第23回病理夏の学校 in 香川」の開催に際し、遠方より特別講演のためにお越しいただきました宮田先生、岩崎先生に改めて深謝申し上げます（岩崎先生は名古屋から夜行バスで駆け付けてくださいました）。また、「第23回病理夏の学校 in 香川」の趣旨に賛同してご支援を賜りました赤心会赤沢病院院長 赤沢正敏先生、塩見内科医院 塩見勝彦先生、株式会社四国細胞病理センター様、化研テクノ株式会社様、尾立磨琴先生にこの場を借りて深く御礼申し上げます。また、今回の開催にあたり、ご参加の皆様より暖かい心尽くしを頂戴いたしましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。今後の日本病理学会中国四国支部の益々のご発展を祈念して、世話人の報告とさせていただきます。存じます。

日本病理学会中国四国支部 第23回病理夏の学校 in 香川
終了後アンケート集計

参加者全員に伺います。あなたの立場について教えてください。

32件の回答



アンケート回収率：72.7%（32/44）（参加者49名のうち、スタッフと特別講演演者を除く）

教員・病理医	8/16
専攻医・大学院生	5/6
初期研修医	4/4
医学科学生（4年生以下）	9/11
医学科学生（3年生以下）	6/7

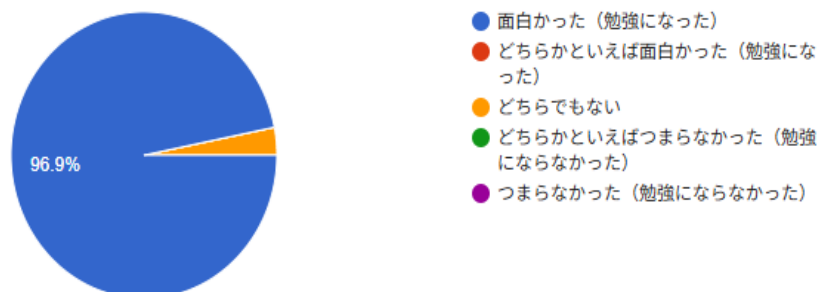
参加者全員に伺います。今回病理夏の学校に参加した理由として当てはまるものをお選びください。

32件の回答



参加者全員に伺います。グループ学習の内容はいかがでしたか？

32 件の回答



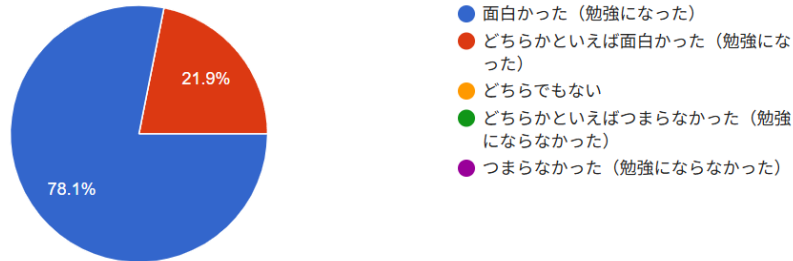
「どちらでもない」との回答は遅れてこられたため参加していない方の回答で、実際に参加された回答者の全員から「面白かった (勉強になった)」とご評価いただきました。

・グループ学習に関する自由コメント

- ・ ちょうどいい時間設定でした。(専攻医・大学院生)
- ・ 難しかった (医学科学生 3 年生以下)
- ・ とても良いと思いました 医師向けでも十分できますね (教員・病理医)
- ・ 大変勉強になりました (医学科学生 4 年生以上)
- ・ 難しかったですがとても勉強になりました。(医学科 4 年生以上)
- ・ 年次の若い学部学生には難しいかと感じた (初期研修医)
- ・ 臨床医学はじめてには難しいものであったが専攻医の先生が引っ張ってくれたおかげで、楽しく勉強できました。ありがとうございます。(医学科学生 3 年生以下)
- ・ 先生方に詳細に解説頂きまして、ありがとうございました。(教員・病理医)
- ・ 難易度や手間が増えるかもしれませんが、課題の臨床情報から疾患を推測して、染色や追加検査を考えるという点まで行いたいと思いました。(医学科学生 4 年生以上)
- ・ 学年問わずみんなで話し合い楽しく学習することができました (専攻医・大学院生)
- ・ 一つ一つ話し合い理解しながら進めていけて学びが多く楽しかったです。(医学科学生 3 年生以下)
- ・ 様々な学年で団結して学び合ってたのが素晴らしかった (教員・病理医)

参加者全員に伺います。特別講演はいかがでしたか？

32 件の回答

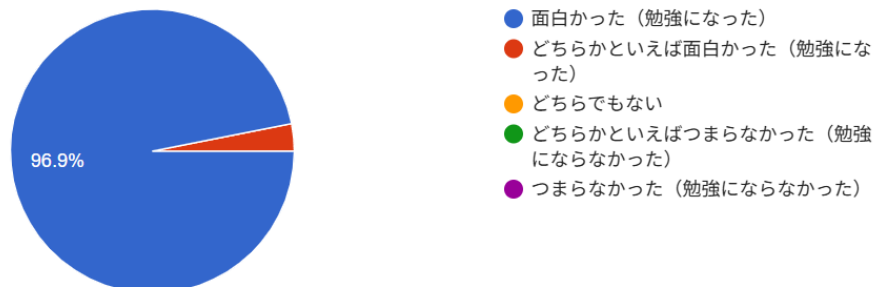


特別講演に関する自由コメント

- 研修医には理解が難しい内容も多くありましたが、貴重なお話を伺うことができました。(初期研修医)
- ありがとうございます。(医学科学生 4 年生以上)
- 知らない未知の事を知れて面白かった。(医学科学生 3 年生以下)
- 基礎的な内容から専門的な内容まで、よくわかりました。ありがとうございます。(教員・病理医)
- 難しくはあったが面白い内容だった (医学科学生 4 年生以上)
- 美しい画像と詳細な解説をいただき感動しました。これからは解剖の時は脊髄を取ろうと思いました。(教員・病理医)

参加者全員に伺います。グループ学習課題の解説・リレー講義はいかがでしたか？

32 件の回答



グループ学習課題の解説・リレー講義に関する自由コメント

- ・課題の解説は大変勉強になったので、もっと詳しくお聞きしたかったです。（初期研修医）
- ・どういうところがポイントかわかった。（医学科学生3年生以下）
- ・質問がしたかったです（医学科学生4年生以上）
- ・神経病理に対する漠然とした苦手意識が和らぎました（専攻医・大学院生）
- ・講義資料を後日配られるとのこと、大変ありがたいです。（医学科学生3年生以下）
- ・どの症例も考えさせる課題で、素晴らしかったです。（教員・病理医）

「夏の学校参加前に病理を進路として考えていたか」と「夏の学校が終了してからの病理への興味の変化」について（学年別）

医学科学生3年生以下（n = 6）

- ・今回参加するまで進路として病理は考えていましたか？
 - ・もう病理医に決めていた：0
 - ・候補の一つとして考えていた：6
 - ・他科志望で病理は考えていなかった：0
 - ・病理医という道があることを知らなかった：0
- ・今回参加して病理への興味に変化はありましたか？
 - ・興味がより強まった：6
 - ・変わらない：0
 - ・難しすぎて興味が薄れた：0

医学科学生4年生以下（n = 9）

- ・今回参加するまで進路として病理は考えていましたか？
 - ・もう病理医に決めていた：3
 - ・候補の一つとして考えていた：5
 - ・他科志望で病理は考えていなかった：1
 - ・病理医という道があることを知らなかった：0
- ・今回参加して病理への興味に変化はありましたか？
 - ・興味がより強まった：7
 - ・変わらない：2
 - ・難しすぎて興味が薄れた：0

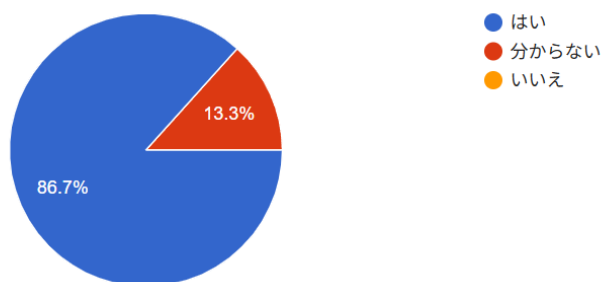
初期研修医 (n = 4)

- ・今回参加するまで進路として病理は考えていましたか？
 - ・もう病理医に決めていた：4
 - ・候補の一つとして考えていた：0
 - ・他科志望で病理は考えていなかった：0
 - ・病理医という道があることを知らなかった：0
- ・今回参加して病理への興味に変化はありましたか？
 - ・興味がより強まった：4
 - ・変わらない：0
 - ・難しすぎて興味が薄れた：0

候補の一つとして考えていたり、もう病理に決めている学生・初期研修医の興味を深めることができました。「難しすぎてもうこりごり」という思いをさせてしまった方は少なくとも回答者の中にはいませんでした。

学生・初期研修医の皆さんに伺います。病理夏の学校にまた参加したいと思いますか？

30件の回答



主に学生・研修医向けの質問でしたが、専攻医、教員・病理医の先生方の回答もありましたので、すべて含めて提示しています。

参加者全員に伺います。今回の病理夏の学校 in 香川について、ご感想、ご意見を自由にご記入ください（テーマ設定、内容、運営、会場、食事、参加者間の交流など何でも）。

- ・とても楽しかったです（医学科学生4年生以上）

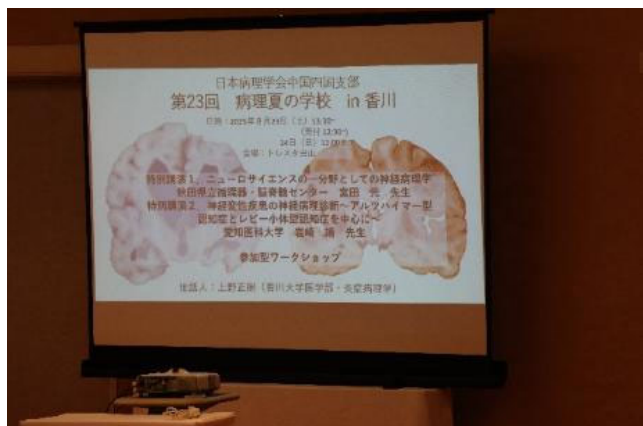
- 休憩時間が短いのももう少し時間にゆとりを持った日程にしてほしい。(医学科学生3年生以下)
- 検討会で先生方や他大学の方とお話できたのはとてもいい経験になりました。部屋割はできれば2人部屋くらいが希望です… (初期研修医)
- やはり、夏の学校は、宿泊ですよね～ (教員・病理医)
- 夕食会や検討会では他学の先生や学生とお話しできて病理に限らず将来の進路の参考になった。(医学科学生4年生以上)
- 会場の冷房が急に切れて暑かったです。(医学科学生4年生以上)
- 楽しかったです (医学科学生4年生以上)
- 大変勉強になり、様々な年代の学生さん、先生方と楽しく交流させていただくことが出来ました。心より感謝申し上げます。 (教員・病理医)
- 概ね満足した有意義な会でした。
ただ、講義を受ける際のテーブルが円形であるのはやや不便でした。講義を受けながらメモをとりにくかったです。 (専攻医・大学院生)
- 検討会がとても良かったです。(医学科学生3年生以下)
- テーマが絞られていて、集中して学習できたと思います。この度は色々とお世話になりました。久しぶりの宿泊しての会で、楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。 (教員・病理医)
- プログラム、会場、食事、温泉、参加費の全てがちょうど良い内容でした。ご準備くださりまして、ありがとうございました。(教員・病理医)
- 宿泊により交流も深め、知識も得ることができ、非常に有意義で楽しい会でした。(医学科学生4年生以上)
- 神経病理をテーマにしてくださって普段触れない範囲であったため大変勉強になりました。
学生同士も他大学や他学年とのかかわりができ、マッチングの仕方や実習のことなど学年を越えて話す機会となって有意義であったと思います。私自身も他大学の先生方と出会うことができ大変光栄でした。キャリア積み方のお話や日常診断での考え方などお聞きできてよかったです。また、病理に入局を決めている研修医や学生さんと繋がれたのも今後何か良いことにつながると思いました。このような機会を与えてくださりありがとうございました。 (専攻医・大学院生)
- 楽しく過ごすことができ、すごく良い経験になったと思います。ありがとうございました。(医学科学生3年生以下)
- テーマが素晴らしく、とてもワクワクしながら参加させて頂きました。ありがとうございました。ご準備もご解説もミニレクチャーもとても勉強になりました。もちろん検討会も素晴らしかったです。 (教員・病理医)

参加者全員に伺います。今後の病理夏の学校についての希望があればご自由にお書きください。

- ぜひ今後も宿泊込みで継続して欲しいです！（教員・病理医）
- ぜひ宿泊でやりましょう！ 病理医もたくさん参加して、中四国全体で盛り上げましょう！！（教員・病理医）
- 来年も泊まりが良いです。（医学科学生3年生以下）
- 来年度以降もぜひ合宿形式で開催くださいますとありがたいと思います。今後も参加していきたいと思います。（教員・病理医）
- やはり合宿形式が良いと思います。学生さんたちの親睦がかなり深まっていたようです。（教員・病理医）

日本病理学会中国四国支部 第23回病理夏の学校 in 香川 フォトアルバム

開会前



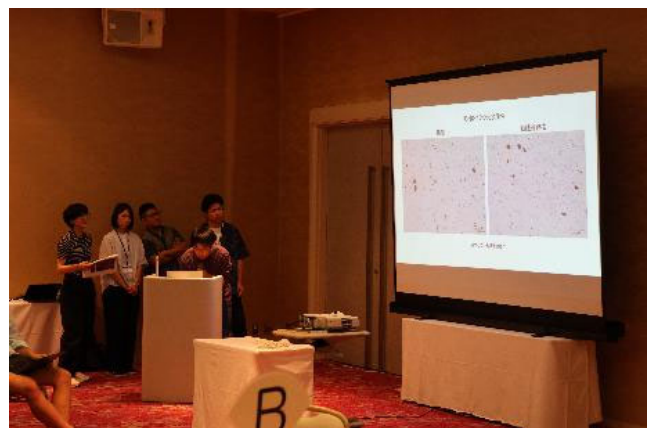
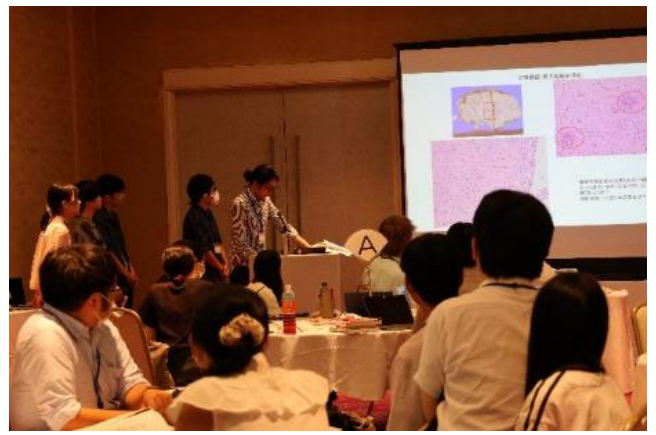
開会あいさつ・オリエンテーション



グループワーク風景



グループワーク発表会



特別講演 1 (宮田先生)



夕食会・大学紹介









2日目 課題症例解説



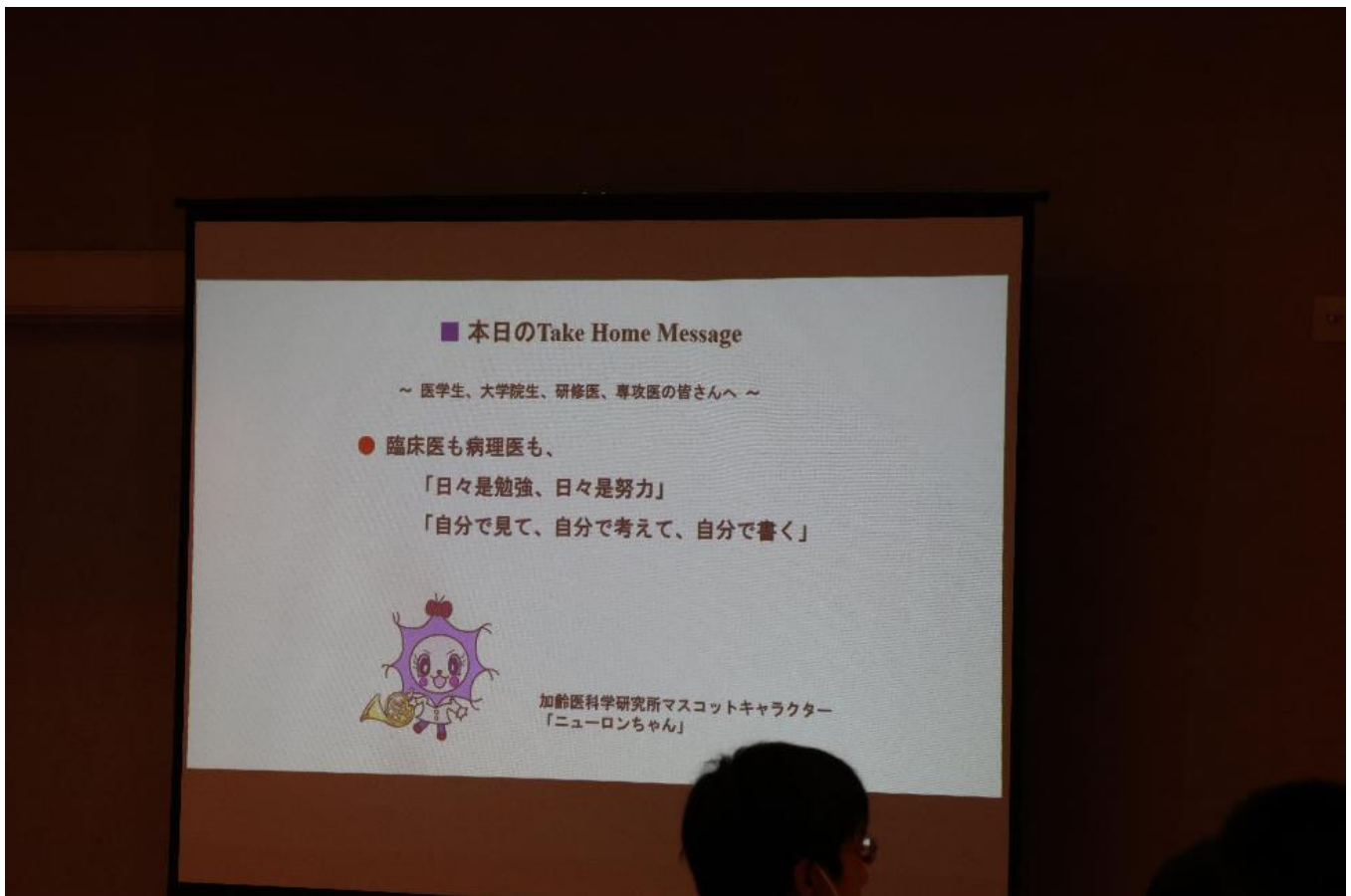
2日目 ミニ講義 門田先生



2日目 ミニ講義 村上先生



2日目 特別講演2 岩崎先生



2日目 表彰式・閉会式

